

親子聖書日課

NO.1767 2022.8/7-13

名前

[日]「大バビロン」はローマ帝国だけではありません。豊かな生活を求め、金の力で世界中からあらゆる資源を貪る日本にも当てはまります。「私の民よ、彼女から離れられ」とは、貪欲をかなぐり捨てて、天に宝を積み、他者と分かち合うことです。

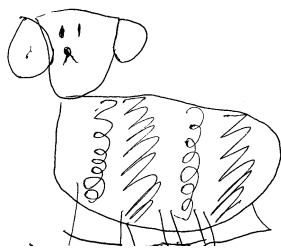
[月]大バビロンも「ひとときの間」に廃墟になりました。造るには何年もかかるのに、それを破壊するのは一瞬です。開発・近代化という美名に隠れて、自然が破壊されています。欲望を捨てて、朽ちないもののために働いたら、永遠に残ります。

[火]ヘンデルのメサイアの歌詞の最初は、この6節から取りました。私達の信じる神は、主の主、王の王です。天国に行った時、主の花嫁として婚礼に招かれます。礼拝はその予行演習です。備えをしてハレルヤコーラスを力強く賛美しましょう。

[水]私達は自分の力でサタンと戦っても歯が立ちませんが、勝利者が乗る白い馬に乗られた主だけが「鋭い剣」(十字架の言葉)をもって打ち倒せるのです。戦われるのは主です。私達はただ主に委ねて、ついていけば、主の勝利を頂けます。

[木]主の再臨の前後に、主と共に世界を千年も支配できる「千年王国」の約束は大きな希望です。しかし、その後に最後の裁きがあり、主を信じない人は、第一の死(肉体の死)よりも恐ろしい、第二の死(永遠の死)を迎えます。主を伝えましょう。

[金]ここは黙示録のクライマックスです。「新しい天と新しい地」天国では主と顔を合わせて、永遠に生活できます。もう悲しみや苦しみ、死もありません。天国を待ち望む時、どんな苦しみにも絶望することなく、希望と喜びをもって生きれます。



[土]天国は神の栄光に輝き、その美しさは宝石のようにまばゆいばかりです。そして何よりも小羊イエスと直接会って、礼拝できるのです。もう神殿はいりません。そこに入る門は一日中開いていて、主を信じる人なら誰でも入ることができます。

	聖書	問題	答え
日	黙示録 18:1-14	私の民よ、彼女からどうすべきですか。	
月	18:15-24	豊かになったのに、どのぐらいの間に荒れ果てましたか。	
火	19:1-10	何に招かれている者たちは幸いですか。	
水	19:11-21	白い馬に乗っている方は、何と呼ばれていましたか。	
木	20:1-15	その名が命の書に記されていない者は、何に投げ込まれたか。	
金	21:1-8	渴いている者には、何かから価なしに飲ませてくださいますか。	
土	21:9-22:5	都で神の僕たちは、神をどうしますか。	
感想と祈りの課題			